

	令和5年2月16日(金) 15時00分～17時20分							
会場	市民プラザあくろす2階 はばたき							
運営委員	会場	村上 むつ子	会場	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	欠席	加藤 和歌子	会場	毛利 勝	欠席	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	石井 洋子	欠席	阿部 秀樹	会場	浜本 正樹	会場	石正 房江
	会場	安藤 雄太	会場	佐竹 澄子	会場	熊谷 紀良	欠席	松谷 知彦
	会場	田村 敦史	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ				
事務局	橋本、池田、鈴木							

1 はじめに

各委員より近況報告を行った。

《承認事項》 15:30～16:00 (30M)

2 令和6年度予算案について

資料1

【事務局】 令和6年度事業計画案について説明させていただく。前回は今後の流れについてお伝えしたが、事業計画も法人内での理事会評議委員会を経て、最終的に承認される。現時点での案として、皆さまに資料を用意した。ご覧になっていただくとおわかりいただけると思うが、現状と課題のところで、センターの取り組みを描き、3つの年齢層のカテゴリー「子ども」「50代」「高齢者」をめぐる社会課題を、議論していけたらと思う。皆さんもこの一年で何度か耳にしたかと思うが、第2「基本方針」・第3「重点項目」については、センターの中長期運営方針の部分を改めて抽出している。むしろセンター運営は、運営委員会と共に、運営を進めることを描いている。ご理解いただきたい。最後の重点項目「2職員の支援力向上」について、私ども社会福祉協議会では、地域を担当する職員が増えている中、元々あったボランティアコーナーの職員たちが、どう働いていけば地域のためになるのかを、改めて考え直す時期に来ている。中身に反映できるよう、職員を動かしながら進めていきたい。次ページに移ると、各事業に対して目標、方針、実施内容を記入している。1つポイントとしてお伝えしたいのが、例として70ページ3番「ボランティア・市民活動団体及び個人への支援」の実施内容等で、市民活動に関する相談支援の充実を語っている。相談という言葉が、いろいろな箇

所に出てくる事業計画だ。恐らくこの後、えんがわファンドの話になるだろう。団体との付き合いの中で、ただ助成をする関係性では、地域支援を進めることにはならないと感じる。例えると、今のえんがわファンド申請は、市民団体とセンターとの関係性は側面に過ぎない。その前後の相談関係や関係性の構築を柔軟に進めていく必要がある。キーワードは相談支援という言葉だ。今後調布がどのように良くなっていくのか一緒に考えていきたい。承認の流れについては、引き続き事務局から説明する。

【事務局】 承認の流れについて。資料の配信が昨夜だったため、今日ここで確認した方も多いかと思う。先ほども事務局から説明したが、ポイントについてイメージしていただけたらと思う。今年度の運営委員会を振り返りながら、皆さんの思いが令和6年度計画（案）に反映されているか確認いただき、ご意見、ご要望があれば2月25日（日）までに事務局までご連絡いただきたい。いただいたご意見について、事務局内で検討し、最大限、文章に反映していきよう調整する。その後法人内で確定する。基本的にはご意見いただいたものを最大限反映したい。ベースとしては今日配布している計画（案）で、ご承認いただくことをご了解いただきたい。

【委員長】 今の時点で質問はないか。

【委員】 皆さんは相談支援という言葉が、単語としてピンとくるか。相談支援は別の用語の使われ方があるので、わかりやすく注釈を入れるといいのではないか。

【事務局】 確かに私たちは相談支援という言葉を使いがちだ。皆さん相談というと、ニュアンス的に違うものとして取り扱うことがあるかと思う。

【委員】 相談支援というのは相談だ。相談は相談しに行かなくてはならない。逆にいうと、社協側は相談が来るのを待っている。ここで言う相談は住民がつぶやいていることをキャッチしながらどうするか、というニュアンスが合っていると思う。ある意味、相談に行かなくても、相談が来なくても、住民がつぶやいたことをキャッチすることを含めて、相談というニュアンスとして使う。

【事務局】 相談という言葉のニュアンスは、窓口の相談を思い浮かべる人が多いと思う。私たちが相談支援という言葉を使う時、あらゆる機会が相談支援の場になる。言語化が難しいが、中間支援組織として、この部分も入れ込みたい。まずは運営委員の皆さんにご了解いただきたい。ご意見を聞き、対外的にどうしていくか、もう少し練り上げる必要があると感じる。

【委員長】 その他はないか。

【委員】 基本的なことだが、運営委員会で事業計画（案）に関し、承認事項ということを見ると、ここで承認されたものが理事会に行く流れだ。2月25日（日）までに意見をもらうことは一つの時期と考えるといいだろう。運営委員会で運営委員が承認するという流れで、これまでもやってきている。異議が無ければ、承認するという捉え方で宜しいか。

【委員長】 その捉え方でお願いしたい。その他はよいか。それでは協議事項に移る。

- 承認結果 配布した事業計画（案）で、ご承認いただくことをご了解いただいた。また、事業計画（案）について、ご意見、ご要望があれば2月25日（日）までに事務局へ、連絡いただくことになった。

《協議事項》 16:00～17:10 (70M)

3 えんがわフェスタ振り返り

資料2

【委員長】 えんがわだより2月号で、えんがわフェスタを特集した。今日も時間を設け、それぞれのグループ内で振り返り、良かった点や今後の改善点などを話し合い、最後に発表の時間を設けたい。事務局から補足はないか。

【事務局】 振り返りで良かったこと、気づいたこと、学んだことを話し合いたい。来年度は新たにテーマを設定することになる。イベントの開催、運営について広くとらえた時の改善点について、各グループの中で振り返っていただきたい。

【子ども】 いただいたアンケートやレポートを見つつ話しをした。その中で良かったことは、外国籍の方たちの良い交流の場になったことだ。食べ物やゲームも非常に盛り上がった。1回だけのイベントではなく、これを機会につながりを持っていきたい。アンケートにも、意識して継続的にやっていきたいという要望があった。イベントの改善点ではないが、外国籍の方の困りごととして、公共での情報理解のしにくさにより、住みやすさ、住みにくさが、顕著に現れていると感じた。先日東京ボランティアセンターで「やさしい日本語」講座に参加したが、とても関心が高くなっているようだ。今回の建付けで、CIFAと一緒にコラボレーションしたことは、とても良い形だ。今後のえんがわフェスタも様々な団体に入ってもらいながら開催すると良いだろう。

【高齢者】 外国人だからではなく、わからない人に対しても、寄り添った対応が必要ではないかと学んだ。また、この後（後日）どうするかが大事だ。外国人に支

援してあげるではなく、一緒に何かできるといい。私たちがアンテナを張って、いろいろなことをキャッチする、おせっかいが、つながるきっかけになる。声を掛ける勇気、温かみのあるつながり、環境作りが大事。今回、こういったひな型でフェスタを体験したが、大変良かった。他でも、これを元にして、開催できるといい。

【50代】 総論で行くと、本当に良かったし、本当に楽しかった。運営側も楽しめ、イベントとしては大成功だった。改めて思ったが、精通している委員の人脈やネットワーク力、また外国籍の方がCIFA職員を非常に信頼しており、ネットワークが成り立っているように感じた。調布には外国人が数千人いる。今回のイベントには、ネットワークができていない方が参加していた。一方で、目的の観点からいうと、ネットワークを持っていない外国人とどうコネクションを作るかが、今後のポイントになってくる。また別の委員は、殆どのスリランカ人と接点を持っている。言い方を変えると、それぞれの国で、キーマンがいる。今後はキーマンといかにつながっていくかだ。そう言う意味では、このフェスタは参加された国のキーマンの参加があった。今後はキーマンを押さえていくのが肝要だ。イベントの中で、スイーツのアイデアはとても良かった。言葉が上手く通じなくても、楽しめた。共通の目的があることも良かった。まとめとして、何らかの形で、ゆるくでも続けることが肝要だ。

●**協議結果** 満足度の高いイベントとなったが、今回のつながりを継続する取り組みの必要性やネットワークのキーマンとのつながりを増やすことが重要という結論となった。

【委員長】 何か質問はないか。無いようであれば、次の議題に移る。

4 各グループの取り組みについて

資料3

【委員長】 今期の取り組みについて、アップデートをしていきたい。時間を15分設けるので、これまでの振り返りや、次のステップを含め、話し合ってもらいたい。

運営委員会の今期の取り組みについて、3つのグループに分かれ、グループワークを行った。

5 えんがわファンドについて

資料4

【委員長】 えんがわファンドのアップデートを行う。えんがわファンドの申込が4月から始まるが、いくつか変更事項がある。どういった団体を支援すべきか、どう団体を選べばよいか変更の理由だ。1月に選考委員に集まる時間を設けた。その時の意見を反映し、資料の網掛け部分が更新された部分だ。この時間は、どのような意見の共有、変更点について説明していく。今年の選考委員承認については来月行う。資料④-2を確認いただきたい。

私も選考委員を経験している。申請団体は、調布に根付いている団体のほか、全国に展開している団体などもあり、助成金の目的も多岐に渡る。例として、歌会演奏者への謝礼・壊れた備品の補助・居場所での上映会場所代などがある。毎回、申込書一枚(表裏)での申込だけだが、それだけでは活動のイメージが湧かない。えんがわファンドは地域の方からの寄付で成り立っている助成金だ。

1) 助成対象の視点として、

① 0を1にするための助成金活用

これからはじめる団体への活用

② 既存の活動をさらに広げるための助成金活動

助成金を活用することで、ビバレッジさせる

③ 既に行っている活動の安定性を高めるための助成活用

①～③は優先度の高い順だ。

しっかり選びたい。その他の視点としては地域にフォーカスし、継続的なつながりを重要視して選択していきたい。えんがわファンドは1団体10万円、上限が3年だ。助成期間が終了した際、その団体が継続していけるかが課題だ。取り組みとして、助成を受けて終わりではなく、その後の活動に対しても、サポートできる団体が望ましい。今回の選考方法は、申込書1枚だけでは情報が足りず、活動の想いが汲み取れない。そのため、来年度からプレゼンテーションを実施し、他の団体も見学できるよう公開する。運営委員も参加できるので、地域課題に取り組んでいる団体かどうか、是非公開日にご参加いただきたい。

網掛け部分は選考委員で話あった内容が反映されている。

相談期間は、令和6年4月1日(月)～4月27日(土)

選考方法は、応募書類による審査と公開プレゼンテーションを行い、選考委員会にて助成団体及び助成金額を決定する

公開プレゼンテーションは令和6年6月1日(土)午後1時～午後6時

@市民プラザあくろす3Fホール(1団体10分程度を予定、応募団体多数の場合は短縮される場合がある)

選考基準、共感性を加えている。(ミッション、目的、課題)

令和7年3月、えんがわファンド交流会の実施予定だ。

【事務局】 大きな変更点は、書類の提出だけでは申請できなくなったことだ。今までは、駆け込みで書類を持って来る団体も受け付けていた。今後はつながりや相談関係の継続性など、支援を丁寧に見ていく必要があると感じている。そういった所に重点を置き、一つの事業をきっかけにしながら、より支援を深めていくために、必ず相談してからでないと申請できないというステップにした。

そのため、7応募方法の文言が変わり、相談期間と応募期間が別れた。より団体の想いを知るための公開プレゼンテーションで成果を報告し、寄付者がえんがわファンドを応援して良かったと思えるよう、交流会を設ける。そのようなパッケージになる。加えて、この要綱については3月10日「ふくしの窓」で募集をスタートする。3月初旬には要綱を確定し、HP上で公開する。内容について、お気付きの点がある場合は、2月22日(木)までにお知らせいただきたい。是非ご都合つく方は、6月1日(土)公開プレゼンテーションに参加をお願いしたい。

【委員】 今年度、助成をうけている団体の交流会は行われるのか。

【事務局】 予定できていない。コロナ以降、そういった活動ができなくなっていた。次年度以降は、実施したい。

【委員長】 その他、質問はないか。報告事項に移る。

●協議事項 資料④-1 えんがわファンド令和6年度募集要項案

資料④-2 えんがわファンド選考委員会 選考基準検討会備忘録をもとに協議が行われた。

《報告事項》 17:10~17:20 (10M)

6 令和6年度予算について

資料5

【事務局】 前回の会議で皆さんにご承認いただいたが、今回提示したのは、委託金と補助金収入に加え、自主財源を予算化したシート。えんがわファンドの原資となる部分や、その他の事業収入を盛り込んだ数字と思っていただきたい。今この場では深く掘り下げられないが、自主財源をいかに確保するのかについては、センターとして大きなテーマだと考えているので、来年度の運営委員会で、みなさんと議論できると良いと考えている。

7 災害ボランティア養成講座について

- 【事務局】 3月23日(土)あくろすホール1, 2(3F)にてシンポジウムを行う。
要配慮者(障がい者)避難について、発災前の平時のつながりの重要性についてしっかり学べる内容としていきたい。東京ボランティアセンターの協力をお願いしている。皆さんにもご協力をお願いしたい。

《その他》 17:15~17:20(5M)

8 情報共有

- 【事務局】 3月10日(日)まち活フェスタのチラシができた。ご覧いただき、是非ご参加いただきたい。
- 【委員】 ちょうふこどもネット
調布市内の学童は来年度、暫定定員が増える。それに伴い職員が必要になってきている。今、ハローワークやタウンワークなどで募集している。情報が整ったので皆さんにも募集要項などを送らせていただきたい。子育てを終えられて方や、若い方などの応募をお待ちしている。お声がけをお願いしたい。

9 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

- ・ 3月19日(火) 19時~21時 ⇒当初予定の3月20日から変更しました
- ・ 4月17日(水) 19時~21時 令和6年度第1回運営委員会
- ・ 5月25日(土) 14時~16時 令和6年度第2回運営委員会

※6月以降はセンターで決定したものを早々に共有する。開催日に合わせて、スケジュールいただきたい。方向性としては、今年度以上に夜間帯の開催を減らしていく形にさせていただきたい。仕事の調整もさせていただくことになるが、可能な限りご出席いただきたい。